

佐倉市ボランティア連絡協議会 令和1年度活動報告

第1回運営委員会(総会)4月29日
志津コミュニティセンター



1部：R6 活動・決算報告/R7 予算案
2部：講演会
佐倉市社会福祉協議会事務局長
深沢孝志氏より「今求められるボランティア活動とは」と題して、福祉教育や災害ボランティア活動などのエピソードを交えながらお話をいただきました。

バス研修会 7月10日
建設技術展示館(松戸)



快晴の中、建設技術展示館で作業車の見学や体験、車椅子移乗や白杖歩行を通して段差や点字ブロックを体感し、バリアフリーの必要性を再認識しました。災害時に活躍する作業車への理解と感謝が深まり、昼食ではゆったりした時間を過ごし交流の輪も広がりました。

個人ボランティアのつどい 11月15日
佐倉市社会福祉センター



講演会では詐欺の手口と対策について学び、交流会では各活動に関する情報交換を行い、課題解決へ向けて前向きな議論が深まりました。参加者一人ひとりが積極的に意見を出し合い、より深い交流と建設的な話し合いが展開され、時間が足りないほど充実した会となりました。

「市民活動発表 2025」 11月30日
佐倉市中央公民館



市民公益活動サポートセンター主催<テーマ>～伝える・広げる・私たちの活動～に参加。多くの来場者が体験ブースをめぐり賑わいました。V連では、車椅子・白杖・ピクトグラム体験ブースを実施し、参加者からは「体験することで気づくことがある」という声が寄せられました。

佐倉市障害者作品展 12月11~14日
「ふれあいギャラリー」佐倉市立美術館



佐倉市主催
実行委員として参加協力(展示手伝い)

作者の皆さんご、日常で感じたことや日々の想いを力強く表現され、来場者に感動と新たな視点を感じさせる作品が展示されました。作品を通じて障がいへの理解が深まり、作者の創作意欲や生きがいに繋がるよう、より多くの方にご覧いただきたいと感じました。

第44回ボランティアのつどい



2026年2月11日(水・祝)
10時~13時半(受付 9時30分~)
於:志津コミュニティセンター 大ホール

主催 佐倉市ボランティア連絡協議会
共催 佐倉市社会福祉協議会 後援 佐倉市
お問い合わせ: 佐倉市ボランティアセンター内
TEL 043-484-6198 FAX 043-486-2518

「つながろうボランティア!
世代をこえて未来へ！」

日時: 2026年2月11日(水・祝)
10時~13時30分

会場: 志津コミュニティセンター

内容

- ① ボランティア活動の発表
☆順天堂大学
☆県立佐倉西高等学校
☆臼井地区社会福祉協議会
コーディネーター: 松山毅 先任准教授
(順天堂大学 スポーツ健康科学部)
- ② グループトーク
昼食(チキンカレー)
- ③ みんなでからだを動かそう!!

編集後記

春の訪れが待ち遠しい季節。古今を問わず桜を慕う心は皆同じようで、遠い昔、西行法師が愛した白く可憐な山桜は、900年の時を経て今もなお私達を見守り続けているようです。この桜と共に、私達も、未来を生きる子ども達を明るく照らし見守り続けていきたいですね。



ボランティア情報紙

はらっぱ

第52号 2026年2月3日発行

編集・発行
佐倉市ボランティア連絡協議会(V連)
はらっぱ編集委員会
〒285-0013 佐倉市海隣寺町87
佐倉市ボランティアセンター内
TEL 043-484-6198 FAX 043-486-2518

大きな家族 の巻



作画・大橋カズミ

V連って知っている?

佐倉市ボランティア連絡協議会(V連)は、佐倉市社会福祉協議会にボランティア登録している団体や個人の中で、V連の趣旨に賛同した団体・個人ボランティアで運営する組織です。会員同士の横のつながりを大切に、様々な行事を通して交流や情報交換をしています。1つの団体、一人のボランティアではできないことも、互いに連携することで新たな活動の幅を広げています。ぜひ一緒に活動しましょう。





地域で育てよう 子ども達の未来

佐倉小学校ガードボランティア 「ひまわり会」

～見守り活動の始まりと取り組み～

佐倉小学校でのガードボランティアを始めたキッカケは、他校における不審者等の大きな事件（平成13年6月8日児童殺傷事件）があった事です。教育委員会から「地域力を活用した巡回」の綿密化が示され、地域で子どもを守る取り組みが求められました。佐倉小学校では平成16年5月より市民カレッジ生(40名)が交代で校内巡回を始めました。メンバーの大半が佐倉小学校区外でしたので1年後には4名になってしまいガード体制が危ぶまれる状況となりました。



～地域との連携と見守り体制の強化～

佐倉小学校区域の住民に募集を行い、現在は19名で佐倉小学校へ通学する子ども達の登下校を9か所で見守っています。ひまわり会の会員は高齢者中心ですが「地域の子ども達を温かく見守り、触れ合ってくださる方」をいつでも募集歓迎します。

今のところ大きな事故、事件も無く子ども達は登下校をしており、朝の挨拶よりも帰りの方が元気に「さようなら」と挨拶してくれます。



学校内に「ひまわり会」の部屋があり、年4回の定例会を開催しています。校長先生・教頭先生・PTAの役員の方々と共に、登下校の様子や危険箇所を話し合い改善につなげております。また、佐倉市教育委員会主催のアイアイプロジェクトフォーラムにも参加し、活動の質を高め地域との連携を深めています。



～子ども達との交流と今後の展望～

学校からは、運動会などの行事に招待いただいたり、2月には「ひまわり会」の皆に感謝集会を開催してくださいます。子ども達から心のこもったお手紙や手づくりの品を頂戴し活動の励みになっています。

この温かい気持ちに応えるべく「ひまわり会」としても子ども達がこれからも元気に登下校できるよう見守りを続けていきたいと思います。

随時会員募集中です！



※アイアイプロジェクト：地域全体で子ども達を育てる環境を充実させることを目的
(eye目→安全確保、愛heart→子ども達と地域の皆さんとの心の通い合い)

6月13日「ひまわり会」定例会に参加しました！

日頃より活動に参加されている方達のお話を聞いて、毎日の活動は大変だと感じました。毎日活動する登下校通学路で得る情報が、子ども達を守る事につながる大切な仕組みとしての存在意義を感じました。実際に朝早くから活動したり、猛暑の中でもシニアの方達が体調を考慮しながら、やりがいを持って行える地域型の良い活動であり、今後も継承していってほしいと思います。

「クルクルキッズカフェ（こども食堂）」吉野 記



ピクトグラム（内閣府の「障がいに関するマーク」から抜粋）
単純化された図柄で特定の意味を表現する記号です。言葉を使わずに情報を伝えられるため、言語の壁を越えたコミュニケーションツールとして活用されています。



↑
マーク

間こえが不自由なことを表すと同時に、間こえない人・間こえにくい人への配慮を表すマークです。相手が「間こえない・間こえにくい」ことを理解し、コミュニケーションの方法等への配慮（口元を見せゆっくり、はっきり話す・筆談で対応する・呼ぶときは傍へ来て会話をする・手話や身振りで表すなど）をお願いします。

佐倉小学校ガードボランティア「ひまわり会」
発足：平成16年（2004年）5月
活動内容：見守り活動
活動日：小学校登校日
活動場所：佐倉小学校付近9か所



クルクルキッズカフェ（こども食堂）



代表の吉野さん

～子ども食堂を始めたキッカケ～

カフェの経営は美味しい食事と心地よい雰囲気をお客様に提供するのが役割ですが、それと同時に地域の役割があると感じています。やはり地域の子ども達、そして子ども達の親御さんに何か支援が出来たらという思いで「こども食堂」を始めました。

毎日繰り返しの食事の支度は大変です。「たまには子ども達と一緒にカフェで食事をしよう！」「多少、子どもが騒いでしまっても大丈夫」そんな安心してご飯を食べられる場所を提供できたらと思いました。



～古民家を改装した新しい拠点～

KuRuKuRuCAFEは、佐倉市のランドマークである風車の近くの古民家を自分達で改装。令和5年11月オープンしました。リユース、リサイクル、循環をテーマに、いらないグラスを欲しい人にあげる活動や地域の規格外野菜を使った料理を提供するなど、地域に根ざした活動を行っております。

毎月のイベントとして、美味しい物を食べながら語らう会「焚き火会」（第4土曜日）によるコミュニティの運営とともに、「クルクルキッズカフェ」（第2土曜日）を運営し、近隣家族の皆さんにご利用いただいております。



～食事作りの負担を少しでも軽く～

「こども食堂」を始めて気づいたことは、比較的子どもの多いご家庭の方が参加されているように感じたことです。子どもが多いければ、毎回食事のたびに大変な労力がかかります。月に一度ですが、お母さんが食事を作らずに、お腹いっぱいご飯が食べられれば負担も減ります。少しだけですが「クルクルキッズカフェ」に協力出来たら嬉しいです。



～地域の優しさに励まされて～

また、ボランティアとしてお手伝い下さる方や、食材のご提供を申し出て頂ける方が沢山いらっしゃる事に心から感謝しております。募金箱にも多くの方が支援してくださり、地域の皆さまの温かさに日々励まされています。

6月14日 「クルクルキッズカフェ（こども食堂）」に行ってきました！

右に山林、左に田んぼと田園風景の中にたたずむ古民家カフェに到着。改装したとは思えないぐらいの本格的で素敵な空間で、「こども食堂が月一度だけだなんてもったいない」と思いました。約40席ある店内には、開始時間になると子ども達や保護者の方で満席になりました。皆さん和気あいあいと楽しそうにお食事をされていました。私達もカレー、春巻き、サラダ、飲み物を美味しくいただきました。スタッフの皆さんもとても感じよく接してくださいり嬉しく思いました。クルクルキッズカフェは誰でも気軽に立ち寄れる場所となっていて、子どもや保護者にとっても、人と人の良いつながりの場となっているのだと思います。素敵な場所で心和む時間を過ごさせていただきました事に感謝です。

佐倉小学校ガードボランティア「ひまわり会」大木 記



マーク

障害者のための
国際シンボル
マーク



マーク

「白杖SOSシグナル」
普及啓発シンボルマーク

白杖を頭上50cm程度に掲げてSOSのシグナルを示している視覚に障害のある人を見かけたら、進んで声をかけて支援しようというシンボルマークです。進んで声をかけて、困っていることなどを聞き、サポートをお願いします。